

伊藤駐ニュージーランド大使によるクライストチャーチ地震追悼行事出席

2023年2月22日は日本人28名を含む185名が犠牲となったクライストチャーチ地震から12年となり、この日、遺族会とクライストチャーチ市による追悼行事が同市内で行われました。新型コロナウイルスが世界に広がった後は行事に出席できなかった日本のご遺族も、今回3年ぶりに行事に出席をされました。行事には、メジャー・クライストチャーチ市長とともに、伊藤駐ニュージーランド大使が出席をしました。

22日の朝に行われた「遺族のための追悼式典」がエイボンヘッド公園メモリアル墓地において行われ、ご遺族や両国の支援者、メジャー市長、伊藤大使らが出席をしました。伊藤大使は地元宗教関係者らとともに追悼の言葉を述べ、その中で、これからもご遺族の気持ちに寄り添いながら、28名の犠牲者の方が目指したであろう、日本とニュージーランドの交流に取り組んでいきたいと表明をしました。続いて、出席者による献花が行われました。

22日の昼過ぎには、市内の国立追悼施設において「市民追悼式典」が行われ、地震発生時刻の12時51分に黙祷が行われた後、犠牲となった185名の名前が一人一人丁寧に読み上げられました。続く地元の児童たちによる合唱には日本語の歌もありました。メジャー市長は追悼の言葉を述べる中で、3年ぶりに出席した海外のご遺族にも暖かく呼びかけました。最後に、ご遺族、クライストチャーチ出身のニュージーランドの閣僚や議員、市長、伊藤大使らが185名の名前が刻まれた国立追悼施設内の壁の前に献花を行いました。

続いて、伊藤大使は日本人が犠牲となった場所であるCTVビルの跡地を訪れ献花をし、追悼した後、日本人犠牲者を追悼する彫刻が置かれている「紙の仮大聖堂(Christchurch Transitional Cathedral)」を訪れ、司祭の話を聞きました。

【伊藤大使のクライストチャーチ訪問の様子】



国立追悼施設での献花

CTVビルの跡地での献花



紙の仮大聖堂への訪問

(発行元・お問い合わせ先)
在ニュージーランド日本国大使館
代表電話： +64-4-473-1540
メール： consular@wl.mofa.go.jp
(担当：桐原)